

がん関連脳卒中に対するリハビリテーション治療向上のため、当院に入院された患者さんの電子カルテ情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、ご病気で入院・通院された患者さんの電子カルテ情報を用いた以下の医学系研究を実施しますので、ご協力をお願いいたします。本研究にあたっては、京都市立病院臨床研究倫理審査委員の承認及び病院長の許可のもと、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針及び法令を遵守して患者さんのプライバシー保護に留意して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「⑬お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

① 研究課題名	がん関連脳卒中患者の早期 Activities of Daily Living (ADL) 改善と生存期間との関連
② 実施期間	2024年8月20日～2026年3月31日
③ 対象となる方	2020年01月01日より2024年12月31日までの間に、がん治療中もしくは進行がんの経過観察中に脳梗塞を発症した方、あるいは、脳梗塞で入院中に新規がんと診断された方で、入院中にリハビリテーションを受けた方
④研究実施機関及び研究責任者	京都市立病院 リハビリテーション科 部長 鹿江寛
⑤本研究の意義、目的、方法	がんに関し脳卒中を合併すると、多くの患者さんが日常生活に介助が必要な状態になります。当院でも、日常生活に介助が必要となり、がんの治療が実施できなくなった症例を多く経験します。もし、脳卒中を合併後にリハビリテーションを実施して日常生活の介助量を減らすことができれば、がん治療が再開できるため、生存期間が延長するのではないかと考えました。本研究では、がん関連脳卒中を発症後1週間以内に日常生活の介助量を軽減できた症例と、軽減できなかった症例で、その後の生存期間に差があるか調査します。
⑥使用する資料・情報及び協力をお願いする内容	年齢、性別、診断名、Body Mass Index (BMI)、脳卒中の重症度評価 (NIHSS)、日常生活動作の介助量の評価 (mRS、FIM、PS)、生化学検査 (血液)、がん関連脳卒中発症日からの生存日数、転帰
⑦臨床研究倫理審査承認日	2024年8月20日
⑧研究計画書等の閲覧等	本研究計画書及び研究の方法に関する資料は、他の研究対象者等の個人情報、知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては「⑬ お問い合わせ」にご連絡ください。
⑨結果の公表	関連学会および論文で研究結果等の発表を予定しております。
⑩プライバシーの保護について	本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名及び患者番号のみです。その他の個人情報 (住所、電話番号など) は一切取り扱いません。本研究で取

	<p>り扱う患者さんの電子カルテ情報は、個人情報すべてを削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。</p> <p>患者さんの個人情報と匿名化した電子カルテ情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。</p> <p>なお、連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。</p>
⑪研究の資金源	この研究に費用はかかりません。
⑫利益相反	本研究を実施するにあたり、開示すべき利益相反はありません。
⑬お問い合わせ	<p>本研究はいつでも同意を撤回でき、撤回による不利益が生じることはありません。</p> <p>本研究に関する質問や確認のご依頼は、以下へご連絡ください。</p> <p>また、本研究の対象となる方又はその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）から、電子カルテ情報の利用の停止を求める旨の申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も以下へのご連絡をお願いいたします。</p> <p>研究担当者：西村 彩香 研究責任者：鹿江 寛 京都市立病院 リハビリテーション科 〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1の2 TEL：075-311-5311(代) 平日8：30～17：15</p>